

彩の歳時記

平成二十八年 四月

不二ひとつづみ残して若葉かな

与謝蕪村

「あたり一面見わたすかぎりの若葉の中に、まだ雪の残る富士山だけがうずみ残されてぼつかりと顔を出している。うずみは「埋み」でうずまれるという意味。」

蕪村画



今年、生誕三百年を迎える与謝蕪村【1716～1784】の壮大な句。
ゴッホの絵のように光り輝いている360度の若葉の空間を絵師でもあった蕪村の絵心が余すところなく發揮され、頂に雪を残す富士山の美しい曲線が見えるようです。ゴッホ↓
風、光、若葉の壮大なざわめき(エネルギー)は宇宙的な広がりを感じさせてくれます。
新緑、新しい命が芽吹く季節、明るい陽射しに身を置き、生気を満喫したいものです。



四月の暦

卯月 卯の花(空木の花)が咲く季節

卯の花のこぼるる露の広葉かな 蕪村

一日 エイプリルフール(四月馬鹿・万愚節) 罪のない嘘をつけて良いとされる日。

◎新会計年度 四月一日から翌年の三月三十一日を「年度」として括る。 明治維新後

財政難から一月一日～十二月三十一日が維持できず作られた制度。 明治二十一年から全国一斉に。



四日 清明【二十四節気】「万物発して清浄明潔なれば、此芽は何の草としれるなり」 暦便覧

五日 寒の戻りの特異日 寒の戻りとは、春になって気温が上がる時期に突然やって来る寒さのこと

夜間の冷え込みに注意

八日 花祭 灌仏会 仏生会 仏教の開祖であるお釈迦様の誕生日とされる日。

参拝客が甘茶を注ぐ儀式が行われる。

山寺や人も詣らぬ花御堂

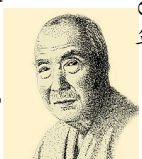
虚子



虚子忌・椿寿忌 椿を愛した俳人・高浜虚子【1874～1959】の忌日。正岡子規に師事。

柳原極堂から俳誌『ホトトギス』を継承し、容観写生・花鳥諷詠を提唱した。1905年、夏目漱石に小説執筆を勧め、連載したのが漱石の処女小説「吾輩は猫である」

十三日 啄木忌 望郷と漂泊の歌人・石川啄木【1886～1912】の忌日。啄木の筆名は



啄木鳥(きつつき)に由来。函館・東京など歌碑は全国に「3」基点在し、訪ね歩く人も多い。貧困と孤独の中、明治末の「時代閉塞」に鋭く感応し、社会主義的傾向へ進むが夭折。盛岡生まれ、小樽新聞社・東京朝日新聞社などに勤務した。上野駅の歌碑に

ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく



二十日 穀雨【二十四節気】「雨が降って百穀を潤す」の意。雨が降る日が多くなる。

二十六日 リメンバー・チェルノブイリ・デー 1986(昭和61年)ソ連ウクライナの原子力発電所で大規模な原発事故が発生し、周辺地域に大量の放射能が撒き散らされた悲劇を忘れないための日。

二十九日 昭和の日 昭和天皇の誕生日 昭和天皇崩御後「みどりの日」2007年から「昭和の日」となり、「みどりの日」は5月4日に。参考・天長節(1927～1948)天皇誕生日(1949～1988)

四月の歌 恋の季節 1968年 詞 岩谷時子【1916～2013】 曲 うずみたへ【1930～1992】

ピンキーとキラーズの歌唱で『第十回日本レコード大賞』新人賞。その年の紅白歌合戦出場にあたり、紅・白のどちらにするかで揉めたが今(ピンキー)が主役と判断され紅組で出場。ちなみに、紅白歌合戦に男女混成グループが出場するのは初であったとは、隔世の感がある。

歌詞の「夜明けのコーヒー」というフレーズは、岩谷が越路吹雪とともにフランス・パリのカフェを訪れた際に生まれたという。

昨今、若者の間で、〇〇〇〇年代の歌謡曲の人氣が高く店舗やカフェなどのBGMで耳にすることが多い。



忘れられないの あの人が好きよ
青いシャツ着てき海を見てたわ
私ははだして 小さな貝の舟
浮かべて泣いたの わけもないのに
恋は私の恋は 空を染めて燃えたよ
死ぬまで私を ひとりにしな
あの人が言った 恋の季節よ